



「野生動物と生きていく！」

岐阜大学社会システム経営学環 准教授 森部 絢嗣 先生

令和6年7月3日（水）15:00～16:00、トップガンの課外講座「野生動物と生きていく！」が、静岡大学教育学部附属浜松中学校3Fトップガンラボで行われました。受講者は、静岡大学附属浜松中学校36名、浜松西高校中等部1名、浜松市立籠玉中学校1名、浜松北高校2名、聖星高校教職員1名、一般1名でした。講師の先生は、本校の卒業生でもある、岐阜大学社会システム経営学環 准教授 森部 絢嗣 先生でした。



講座の概要

- ・ 森部氏の附属中卒業後の進路や、その時々の人との出会いや現在の研究に至る研究活動歴などを含めた自己紹介
- ・ 現在研究している生物資源保全学、野生動物資源学の概要について
- ・ 研究・調査事例として、モグラの分布調査方法や鳥獣対策、狩猟史や資源利用に関する文献・聞き取り調査などについて
- ・ 野生動物毛皮標本の観察
- ・ 質疑応答

活動レポート

附属浜松中在籍当時の話や、中学校卒業後の進路などのお話は、森部先生の人柄や研究への思いが感じられました。その中で、多くの人や研究との出会いがあって今の研究に至った経緯には、生徒たちも大変興味をもって聞いていました。研究室より持ってきていただいたモグラ等多くの野生動物の毛皮などには、直接手に触れ感触の違いを話し合っていました。野生動物を捕獲するための罠も見せていただき、その仕掛けの工夫にも驚いていました。講義の後も、積極的に質問する生徒も多く、野生動物だれでなく、研究や進路などにも興味・関心を高めている様子でした。

講座の様子

2005年6月7日	6月8日	6月9日	6月10日
0:43 飯室フィールド 発	1:00 実験終了	1:00 見回り	9:00 見回り
4:17 函江津港着	1:30 見回り	2:00 計測・実験	9:30 見回り
7:00 函江津港発 佐渡汽船	2:30 計測・実験	2:00 見回り	9:00 片付け・昼飯
9:20 佐渡島 小水 着	4:30 見回り	6:00 見回り	11:00 トンデン山荘で
12:30 トンデン山荘着	9:00 見回り	9:30 船さ	11:00 トンデン山荘
13:00 ワナかけ開始	9:30 買出し	10:00 買出し	11:00 トンデン山荘
17:30 ワナかけ終了	13:00 ワナかけ	15:00 風呂	11:00 トンデン山荘
17:40 調査地探し	17:30 調査地探し	17:00 見回り	11:00 トンデン山荘
20:00 夕食	20:00 夕食	21:00 見回り	11:00 トンデン山荘
22:00 見回り	20:40 見回り		19:30 夕食
23:00 計測・実験開始	21:10 計測・実験		20:00 夕食

総走行距離 1224km



受講生の感想

今日の活動で一番印象に残った話は、中国のねずみの研究についてです。進化することによって微妙に歯の形がちがったりするというのがおもしろかったし、びっくりしました。1回見ただけではまったく違いがわからないのに、骨格を見ると全然違ったりするのが不思議でした。またお話を聞ける機会があればもっと詳しくしりたいです。
(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 新美 琴子)

自分は、研究と言うと自分のやりたい分野だけをやればいいとおもっていましたが、違う分野もやってみる事で、自分の未来の種となりよりチャンスができるんだと思いました。また、初めて本物の標本を見たので驚きの気持ちもありましたが、標本で見る動物と写真などで思っていたものもあったのもっと知りたいと思いました。また、自分は動物の毛や捕獲についてもっと知りたいと思いました。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 鈴木 心子)

私は将来、大好きなディズニーのテーマパーク開発者として世界で活躍したいと思っていますのですが、好きなこと、興味を持っていることを仕事として活躍されている森部先生のお話で、新たな未来を想像することができました。また先日、塾の帰りにヌートリアを見ました。あまり身近ではない動物だったので、今日、剥製を実際に触れて、個人的にととても嬉しかったです。今日のお話を糧に、これからも夢を叶えていこうと思います。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 斉藤 梓希)

私は中国の研究の話が特に印象に残りました。私も中国の研究所の剥製をみてみたいなどと思いました。それと、剥製も作ってみたいです。ネズミの種類によって生息地域が変わるのは動物の凄さがわかった感じがします。私は芋虫の研究をしているので研究の仕方などとても勉強になりました。
(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 松本 夏楓)

研究者や生き物について、解剖などなかなか知る機会がなかったりすることが知れたのでとても勉強になりました。研究者や大学の教授などの職業についてあまり知らなかったので、より知識が増え、興味が持てました。専門職についてだけでなく、人と人とのコネクションづくりや行動力の重要性についても知れて、とも充実した時間を過ごせたと思います。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 田村 綾那)

私は、天神森の土壌の研究をしています。その中で研究をするにあたってのポイント(先生がお話しして下さった生きていくポイント)を特に、自分の今後の生活に生かしていきたいと思っています。また、トガリネズミの研究から生物資源学などの分野への興味がとても高まりました。
(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 岡本 凜子)

自分はアマミホシゾラフグというフグの研究をおこなっていて、生物の研究といたらそう？という分野です。先生のお話がとてもためになり、将来のために役立てることができると思います。また、動物を取る仕掛けを自分の手で試したところ、結構痛く、いい経験ができましたと思います。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 大石 康介)

初めの生きてくポイントから、最後の動物の毛皮を見るところまで、とても興味深くおもしろかったです。先生の諦めない精神から粘り強さまでとてもかっこよくすごいなと思いました。私もこれからどんな時でも諦めない心を持っていきたいと思いました。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 山本 愛音)

私は研究者志望なので、研究していくにあたっての心構えなど学ばせていただくことがたくさんありました。特に、愛嬌に関して。変にプライドを持たずに頑張っていきたいと思いました。また、たくさんの毛皮などから伺える生物研究への愛情がいいなと思いました。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 柴田 千歳)

僕はもともと小動物に興味があったのですが、今回の講話を受けて、ネズミもこんなに奥が深いことを知って、やっぱり生物はおもしろいなと改めて感じました。僕もチャンスがつかめるように迷ったらやろうと思います。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 安井 碧都)

僕は特に動物の観察の研究のカメラのものがおもしろいなとおもいました。ぼくは天神の森の研究でカメラをやっているので動物の種類など、もっと研究していきたいとおもいました。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 後藤 颯太)

私は夏休みの自由研究でゴキブリの染色体を観察しようと試みています。どんな方法で染色体を観察したのか教えて欲しいです。また、動物の毛皮などを実際に触ることができて楽しかったです。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年 戸田 なつみ)

自分は、動物が好きで、今日の毛皮を見たことがすごく印象に残っています。動物によって毛の太さや柔らかさが異なっていることがわかりました。動物の毛皮を触ることはあまりできることではないと思うので、いい経験になったと思います。罠は、やるときは少し緊張したけれど、いざかかってみると弱くたのんだけれど、結構強かったから動物はこれで捕まえられていると考えると少しかわいそうだと感じました。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 落合 晃馬)

たくさんの標本や、毛皮みたいなものがあって面白かったです。マフラーのが可愛かったです。日頃から、たくさんの種をまいて、生活していきたいです。そして、迷ったらとりあえずやって挑戦したいです。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 渡辺 咲来)

とても充実した時間でした！特に本物の毛皮やネズミの話が印象に残りました。前まで研究者は堅苦しいイメージでしたが、森部先生の話聞いて、自由な一面もある仕事だと知りました。本日はありがとうございました😊

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 播磨 功基)

研究者の仕事の良いところやキツイところを詳しく教えてください、とても分かりやすかったです。毛皮などの標本を出してきた時、少し怖かったです、帽子も被ることができて良かったです。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 三浦 悠太郎)

私はトップガンでアクアポニックスの活動をしています。今回の講話で、野生生物への関心が高まりました。わたしたちの近くにも動物が住んでいることにびっくりしました。これからは生物の美しさ(美味しさも)を感じながら、研究をしていきたいです。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 3年 諏訪 杏莉)

僕は小さい頃から動物が好きで、この話を楽しみにしていました。僕が一番印象に残ったことは動物の毛皮と罌です。あのような数の毛皮を触ったことがなかったので貴重な経験となりました。その中でもクマの毛皮とキツネの毛皮がお気に入り、キツネのマフラーはかわいいし寒い時に使えるので欲しいなと思いました。僕には将来の夢が自分なりにあるけどこのような研究者のような仕事につくこともいいなと思いました。2つ目の罌では実際に罌がどのようなものかためしてみました。試してみるまでは少し緊張しましたが、いざかかってみると楽しかったです。

(静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年 水野 賢人)

野生動物との共生について、もう一度、資源活用という視点でも考えてみようと思いました。研究者になる方法を知ることができました。将来の夢は昆虫学者です。オオゴキブリの研究を小学4生で始めました。投げ出しそうになる時も無いわけではないけれど、やっぱりオオゴキブリが大好きなので、ずっと続けていきたい、大人になっても続けていきたいです。諦めない大切さを学びました。

(浜松西高等学校校中等部 3年 穂山 愛悠)

研究者としての生活や仕事生き方がどんなものか知ることができました。私は将来どのように生きていこうか、まだ決めることができません。だけど、やりたい事はあります。先生の生き方がとても参考になりました。ネズミの研究の話が面白かったです。ありがとうございました。

(浜松市立亀玉中学校 2年 川口 煌太)

中国でのトガリネズミの研究や、フィールドリサーチの実態、お金の話まで、研究者の生活を知ることができ大変学びになりました。また、本物の毛皮に触る貴重な体験ができ、大変嬉しかったです。

(浜松北高等学校 2年 土井 勇來)